

新町小の主人公たち！

～好きを育み、得意をのばす～

令和8年5月8日

府中市立新町小学校

校長 西尾 克人

校長室だより 第1号

少しずつ、新町小学校の主人公(子供・教師・地域の方々等)の活躍する姿を伝えていきます。
4月…1年生を迎える会・4年生 ヤギの飼育の学習

1年生を迎える会



4年生…ヤギの飼育が始まります



4月17日(金)に「1年生を迎える会」がありました。ひな壇に並んだ1年生の顔も和やかです。2～6年生もクイズに楽しく答えたり、ようこそ新町小への気持ちを校歌に込めたり温かな雰囲気です。貴重な「仲間体験」です。

新町小の伝統である、4

年生による「ヤギの飼育活動」が始まります。「新町のたつと」の方々から、まずは、ヤギの性質、えさのやり方などを学びます。ニンジンや葉っぱを手から直接、あげます。なでられるのが大好きなヤギたちもうれしそうに見えます。子供たちもヤギも地域の方々も「主人公」です。

ひばい教室…小集団学習「電池人間」(低学年)

学習の様子も伝えていきます。ハンカチを頭に載せると、「電池人間」になります。電池人間は、ハンカチを落とすと動けなくなります。「〇〇さん、助けて」といい、ハンカチをとってもらいます。

ルールとめあての確認



電池人げになり、そろりと歩く



「ありがとう」、「いいよ」というやりとりもうまれ、「ソーシャルスキル」が育ちます。電池人間は、順番に「小さな剣」を運びます。5分間です。何度も「〇〇さん、助けて」とお願いしたり、「ありがとう」と答えたりしています。少し、あきかけた子供に「5分間で18本運べました。次は全部、22本運べるかな。」と小さな変化、めあてを与えます。「小さな変化によって子供のやる気を出させる」、とても大切なテクニックです。

4年生…「国語 ルースとアッフ」段落相互の関係

説明文では①「要約」をする、②「問い」と「答え」を見つける、③段落どうしの関係を考える、ことが大事です

めあてを考える



グループで考え合う



めあてを自分たちで考えました。

「段落どうしのつながりをさがそう」です。

段落に小見出しを付け「要約」し、「問いの文と答え」も見つけています。問い

の後の段落がどんな役割をしているか考えました。自分で、グループで一生懸命考えていきます。文を読み解くためには必要な力です。この一生懸命さにたくましさを感じました。